

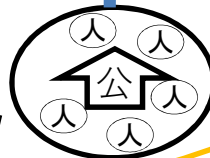
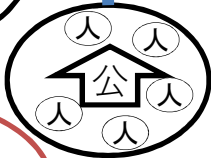
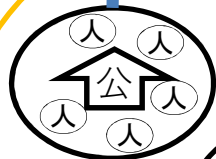
吉賀町の
めざす姿

自立した人たちによる持続可能な地域

公民館の
役割

住民自治の力を高める・伸ばす！！

5つの公民館の統括コーディネーターを配置
 職員体制の強化
 自治会との役割分担
 CATV・音声放送による発信機能
 情報共有システム



ここ(自分達)で
できることは、
ここ(自分達)で
しよう！！

5つの
オリジナル
ミニ吉賀町

体験と
実践

サクラマス
プロジェクト

対話と
議論

現状・問題(公民館)

現状・問題(地域振興)

- 学びっぱなしになっている(住)
- 役職について人への支えが弱い(住)
- 役職や行事が目的の引継ぎまでされていない(住)
- 住民の主体者意識の個人差が大きい(住)
- 個人、団体のつながりやコミュニケーションが不足している(住)
- 地域の情報が入ってこない(公)
- 後継者の育成が必要(住)
- 自治会の引継ぎなどが不足(住)
- 40代～60代の後継者が不在(住)
- 公民館事業の整理が必要(公)
- 担い手が埋もれている(住)
- 住民同士をつなぐことができていない(公)
- 住民からの要望が出ない(住)
- 公民館や行政に興味がない(住)
- 高齢者は公民館に来るが、若者(保護者世代)は少ない(公)
- 自治会機能の低下による公民館への依存(住)
- 住民が自治会、公民館事業、地域での活動などに興味がない(住)
- 事業に対する計画や振り返りの時間を取ることが難しい(公)
- 次世代のリーダーの不在(住)
- 地域行事を担う団体が少数(住)

- 空き家が増えた
- 商店が無くなった
- 耕作放棄地が増えた
- 役員になる人がいない
- 役員が輪番制
- 自治会長の負担が大きい
- 組に入らない
- 子どもの遊び場がない
- 農業の担い手不足
- 行政のリードが必要
- 自治会内に総会・役員会がない
- 交通・買い物不便
- 地区行事に参加する人が減った
- 自治振興交付金の使い方の協議が必要
- 自治会の活動がままならない(高齢化など)
- 地域のまとまり感がないため、地区全体の行事が成り立たない
- 後継者不足
- 自治会として何をしたらよいか
- 地域行事の参加者数が少ない
- 新たな行動を行うことが困難
- 集会所維持が困難